

悲惨な戦争の歴史を風化させるな！

地本平和研修開催

明治大学平和教育登戸研究所資料館見学

終戦から73年が経過し、戦争を知らない世代が大半を占めるようになりました。あの悲惨な戦争の歴史を風化させないために、次の世代に語り継ぐことが大切です。

新幹線地本では11月17日、毎年恒例となる平和研修を明治大学生田キャンパス内にある登戸研究所資料館にて開催しました。

登戸研究所の正式名は「第九陸軍技術研究所」。戦争における軍需研究のもと、風船爆弾、生物兵器、毒物、スパイ用品、偽札などの様々な秘密戦用の機材を開発、その研究過程では人体実験も厭わなかったことが関係者により証言されています。そして、豊島区の帝国銀行支店で行員ら12人が毒殺された「帝銀事件」にこの陸軍登戸研究所が関係していると疑われています。

この登戸研究所で開発された技術や人材の研究情報が、その後米軍に継承・利用され悲劇が生み出されている現実を、資料館の多数の展示品が示しています。このような歴史を振り返って学び、風化させる事なく、平和を追求していかなければなりません。



登戸研究所跡碑を囲む参加者たち